

会 議 記 録

高松市附属機関等の会議の公開及び委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	平成 28 年度 高松市地球温暖化対策実行計画推進協議会（第 3 回）
開 催 日 時	平成 29 年 2 月 2 日（木） 13 時 30 分 ～ 14 時 55 分
開 催 場 所	高松市役所 3 階 32 会議室
議 題	（１） 改定する地球温暖化対策実行計画（案）について （２） その他
公 開 の 区 分	☒ 公開 ☐ 一部公開 ☐ 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	15 人 嘉門会長、古川副会長、池田委員、泉川委員、大三島委員、片山委員、勝浦委員、熊野委員、地下委員、篠田委員、鈴木委員、高橋委員、中山委員、森近委員、山下委員、
欠 席 委 員	3 人
傍 聴 者	1 人 （傍聴席：10 席）
担 当 課 及 連 絡 先	環境総務課 地球温暖化対策室 （Tel 0 8 7 － 8 3 9 － 2 3 9 4）

審議経過及び審議結果
協議会を開会し、次の議題について協議し、下記の結果となった。 次のとおり、協議会を開催した。 （１）改定する地球温暖化対策実行計画（案）について （事務局より説明） 【以後審議】 （委 員） 概要版について、カラフルで見やすいが、基本施策のページを見ると文字が多いので、もう少し親しみをもてるようイラストを増やしてもいいのではないかと。 （会 長） 概要版にしては、詳しく記述しすぎており情報が多いように感じる。もう少し省略化したほうがよい。 （委 員） 概要版はどこに配布する予定なのか。 （事務局） 市の各課、施設、学校を始め関係機関に配布する予定である。 （委 員） 学校に配布するのであれば、子どもには少し内容が難しいのではないかと。 「省エネの取組事例」について、レジ袋をもらわないようにする、簡易包装にしてもらうなど容器包装に関する取組についても一般市民が取り組める内容であるので、計画

審議経過及び審議結果

に盛り込んで欲しい。

(事務局)

「省エネの取組事例」については、省エネ百科からの引用になる。確認して、容器包装に関する内容の記述があれば、載せたい。

(委 員)

概要版は誰に向けてのものなのか(家庭向け、事業者向け、子ども向けなど)、対象を絞ってはどうか。

(会 長)

子どもに本計画の中の取組を理解してもらい、家庭で実践してもらうことが出来れば非常に効果的である。ぜひ、概要版も環境学習等で使ってもらいたい。

(事務局)

学校では、環境に関する副読本を使って環境学習を行っている。温暖化の計画についても、環境学習の際、使ってもらえるよう関係課と相談したい。

(委 員)

計画の中で、年数が和暦と西暦両方が併記されているが、どちらか一方だけ使用しては駄目なのか。

(事務局)

本市の計画等では併記している場合が多い。

(会 長)

正式には、公文書は和暦である。ただし、和暦は近々変更になること、また、世界では西暦が使用されていることなどから併記したほうが分かりやすいのではないか。

(委 員)

計画の 43 ページを見ると、下の図は「全国」と「高松市」を比べたものと分かるが、上の図は「全国」のものなのか、「高松市」のものなのか分からない。この上の図の場合、タイトルの最後に「(高松市)」を加えるなど、図を見ただけで分かるようにして欲しい。

(事務局)

対応したい。

(委 員)

アンケートについて、今回(H28年度)と前回(H21年度)の回答結果を比べて、市民や事業者の意識が顕著に変化している項目を文字の色を赤字にするなどして、パッと見て分かるように示してはどうか。

計画の 71 ページで「イ エアコンで省エネ」や 72 ページの「オ テレビで省エネ」など同じ大きさの字体で見出しとタイトルが記述されると読みづらいので、「イ) エアコンで省エネ」などのように、カタ括弧をつけてもらえると読みやすい。

計画を随時見直しているということを市民に知ってもらうために、計画の裏表紙などに制定日と改定日を記述してはどうか。

(事務局)

対応したい。

(委 員)

副題について、短歌調にしているが文字数が多いように感じる。「脱炭素 みんなで繋

審議経過及び審議結果

ぐ 未来のたかまつ」くらいでもいいのではないか。

取組について、実行計画に記載すべきものではないかもしれないが、例えば環境活動をしている団体を一堂に会してのサミットを開くなど、そういったイベントを通して市が本気で環境問題に取り組んでいくという姿勢を示すことも必要なのではないか。

(事務局)

今年度は計画の改定に尽力したので、来年度は、予算の確保を前提に普及啓発などに力を注いでいきたい。

(会 長)

副題について、委員の意見を聞きたい。

(委 員)

「みんなで繋ぐ エコのまち」でいいのではないか。

(会 長)

「低炭素」ではなく、「脱炭素」という言葉をぜひ使ってもらいたい。

(副会長)

短くてよいのであれば、「未来のたかまつ 脱炭素」でいいのではないか。

(委 員)

長いと覚えにくいので、合言葉のように何も見なくても言えるような言葉のほうがよい。先ほどの「脱炭素 みんなで繋ぐ 未来のたかまつ」や「次世代に繋ぐ たかまつ 脱炭素」などでもいいのではないか。

(委 員)

「脱炭素」や「低炭素」、「カーボンフリー」という言葉の意味が分かりづらいので、定義づけを用語集に入れてもらえると分かりやすい。

(委 員)

「省エネを みんなで進め 脱炭素 未来も快適 高松市」などでもいいと思うが、やはり短歌調だと長くなってしまう。もし、短歌調にするのであれば、副題を上上の句と下の句で段落分けすればいいのではないか。

(委 員)

計画の資料 58 ページの中で、基本施策「3 低炭素なまちの実現」となっているが、副題が「脱炭素」となるのであれば、「低炭素」と「脱炭素」という言葉、両方を使い分けることになるのか。

(会 長)

基本施策の中では、「低炭素なまちの実現」となっているが、個人的には「脱炭素都市を目指して」としたほうがよいと考える。

本協議会では、副題をもう少し短いフレーズにするほうがよいという見解となった。主なものとしては、「脱炭素 みんなで繋ぐ 未来のたかまつ」、「未来のたかまつ 脱炭素」、「次世代に繋ぐ たかまつ 脱炭素」などが挙げられた。短いフレーズで市民に覚えてもらえるものを副題としていただきたい。

(事務局)

副題については、協議会の意見を含め、今回示した事務局案とともに政策会議に諮りたい。

審議経過及び審議結果

(委 員)

計画の 5 ページ、トピックスの「緩和」と「適応」について、現在地球温暖化対策はこの 2 つを柱に対策が進んでいるが、58 ページの施策をみると、「緩和」の施策が多く「適応」の施策が少ないように感じる。

(事務局)

御指摘のとおり、本計画は「緩和」の施策を中心としており、「適応」の施策については今後の課題としている。

(委 員)

今後の課題として、来年度以降、市がどこにどういう風に働きかけ市民や事業者がどう動けばよいか、その結果どういう成果が現れるのかということを具体的なことを示してもらいたい。

(会 長)

正誤表の「基本施策に係る進行管理指標」の中で、市の施策は現在ここに記述してあるとおりだが、最終目標年度（平成 42 年度）になる頃には、もっと市の施策も増やしてもらいたい。

計画では、温室効果ガスを 30%削減するという目標を立てており、その中で市の取組により 2.5%削減するということが、割合が少ないのではないか。「脱炭素」という言葉を計画の中に記述してもらい、水素関連や小水力発電など新しいエネルギーの活用も盛り込んでもらいたい。新しいアクションを増やしていくという姿勢が大事である。

(委 員)

計画 76 ページの中で「省エネ機器を使いましょう」という表現があるが、この表現は行政の押しつけのように感じる。「この機器は大変優れています」といった機器の紹介文章だけでもよいのではないか。

(委 員)

計画の見出しの中に「。」がついているものとついていないものがあるので、統一したほうがよい。

(委 員)

計画 75 ページの「クールビズ」について、「ネクタイや上着を着用しないよう心がけましょう」とあるが、「服装で調節しましょう」という表現方法でもよいのではないか。

(委 員)

「クールチョイス」についての記述はないのか。

(事務局)

冊子裏面にマークを記載しているのと計画本編の中にも文言を記述している。

(2) その他

本日の意見を踏まえ、市の会議に諮りたい。

(会 長)

本日の会議は、これをもって終了する。

以 上

